

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	公益社団法人日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識を習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	菊水 由加	実務経験		○	
実務内容	クリニックや形成外科など医療法人での勤務歴15年 正看護師免許取得				

各回の展開		
回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 (第1章～3章)	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系、筋系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 (第4章～6章)	神経系、感覚器、血液の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 (第7章～8章)	循環器系、呼吸器系、消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	皮膚科学（第1章）	皮膚の構造
5	皮膚科学（第2章）	皮膚付属機関の構造 1項 毛
6	皮膚科学（第2章～3章）	皮膚付属器官の構造 2項 脂腺 3項 汗腺 4項 爪 皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学（第4章）	皮膚と付属器官の生理機能
8	まとめ(第1章～第4章)	テストを実施する
9	解説	振り返り・解説
10	皮膚科学（第5章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
11	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 1項 皮膚の異常と病態 2項 皮膚炎・湿疹 3項 蕁麻疹・4項 薬疹 5項 口唇の疾患
12	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾 6項 温熱・寒冷による皮膚障害 7項 角化異常による皮膚疾患 8項 色素異常による皮膚疾患 9項 管腫 10項 脂腺母斑 11項 下肢静脈瘤 12項 分泌異常による皮膚疾患
13	皮膚科学（第6章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 13項 化膿菌による皮膚疾患 14項 ウイルスによる皮膚疾患 15項 真菌による皮膚疾患 16項 衛生害虫による皮膚疾患 17項 感染症の皮膚予防 18項 毛と爪の疾患 19項 皮膚の腫瘍
14	総まとめ	テストを実施する
15	解説	振り返り・解説

16	皮膚科学の復習（第1～2章）	皮膚の構造と皮膚の付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（第2章～4章）	皮膚の付属器官の構造と循環器系と神経系の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第5章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第6章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	文化論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	文化論		出版社	公益社団法人日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	玉城 のぞみ	実務経験		○	
実務内容	中・高美術教員免許取得、中学校、高校にて美術教員として12年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治)	明治・髪型・服装について
2	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治)	明治・・服装について
3	第3章ファッション文化史日本編 第7.8節 近代(大正・昭和20年代)	大正・昭和の髪型・服装について
4	第3章ファッション文化史日本編 第9節 現代(1945～1950年代)	1945～1950年代の髪型・服装について
5	第3章ファッション文化史日本編 第10節 現代(1960～1970年代)	現代(1960～1970年代)の髪型・服装について
6	第3章ファッション文化史日本編 第11節 現代(1980～1990年代)	現代(1980～1990年代)の髪型・服装について
7	第3章ファッション文化史日本編 第11節 現代(1980～1990年代)	現代(1980～1990年代)の髪型・服装について
8	第3章ファッション文化史日本編 第12節 現代(2000～2010年代)	現代(2000～2010年代)の髪型・服装について
9	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
10	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
11	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	テスト解説	テストの振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

16	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	運営管理		
必修選択	必修	(学則表記)	運営管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	運営管理		出版社	公益社団法人日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容経営者として活躍する上で必要とする知識の基礎を理解する。				
到達目標	自身で生活の中から知識や理論を深めることができる。働く者の立場と、経営者の立場のを理解し、キャリアプランに組み込んでいくことができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	呉屋 倫子	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容室勤務（8年）、運営管理免許取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第1節 第2節 第3節	講師自己紹介/運営管理の授業の概要・価値/授業の受講ルールを理解する 経営とは何か、経営者の責任、経営の目的を理解する
2	第1編 経営者の視点 第1章 経営とは・経営者とは 第4節 第5節	経営戦略とは何かを理解する
3	第2章 理容業・美容業の経営について 第1節 第2節	業界の概要、理容業・美容業を取り巻く社会の変化を理解する
4	第2章 理容業・美容業の経営について 第3節 第4節 第5節	理容業・美容業における競争を理解する 競争の未来図、理容業・美容業の顧客を理解する
5	第3章 資金の管理 第1節 第2節 第3節 第4節	資金管理の重要性と資金の流れを把握/収支と損益を理解する 資産と負債、会計の意味や考え方 コストを管理することを理解する
6	第3章 資金の管理 第5節 第6節	税金①税金の種類と支払うタイミングを理解する 税金②税金の申告 青色申告と白色申告を理解する
7	まとめ	小テスト
8	第2編人という資源 従業員としての視点 第1章 人という資源	人という資源・労働者の権利 やる気とは何か、給与の役割、福利厚生を理解する
9	第2章 従業員としての視点から 第1節 第2節	社会保険①国民年金を学ぶ 社会保険①厚生年金を学ぶ
10	第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険②健康保険を学ぶ P 6 8～P 7 1
11	第2章従業員としての視点から 第3節	社会保険②国民健康保険・介護保険を学ぶ P 7 1～P 7 3
12	第2章従業員としての視点から 第4節	社会保険③雇用保険を学ぶ 社会保険③労働者災害補償保険・マイナンバー制度を学ぶ
13	第3章健康・安全な職場環境の実現 第1節 第2節	健康管理の基礎、理容・美容の仕事と健康 理容業・美容業に特徴的な健康課題、作業環境に関する健康問題を理解する。
14	まとめ	前期授業習得度の確認・前定期試験
15	振り返り	解答&解説

16	第3編 顧客のために 第1章 サービス・デザイン 第2章 サービス・マーケティング	サービス・デザインの基本を学び、サービス・システム①を学ぶ サービス・システム②、新しいサービスをデザインする。 理容業・美容業のマーケティング、マーケティングリサーチ、サービスの改善を理解する。
17	第3編 顧客のために 第3章 サービスにおける人の役割	コミュニケーションやコスト、情報活用について理解する。 接客についての理解を深める。接客の実践①-③を理解する。 接客におけるトラブル対応を理解する。
18	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
19	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
20	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
21	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
22	まとめ	小テスト
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	総まとめ	後期授業内容の習得度の確認
30	解説 総まとめ	後期筆記内容の解説。 運営管理授業全般の総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	公益社団法人日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	前川 和也	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（9年）				

各回の展開		
回数	単元	内容
1	≪ 8章 エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造 3. カウンセリング 4. 美容におけるマツサージ理論	エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック 8. ボディケア技術 9. ボディマツサージ	フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マツサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章 ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論 2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能 4. 爪のカット形状 5. ネイル技術と公衆衛生 6. カウンセリング	ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア 8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー&ファイラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマツサージのポイント・手順、フットマツサージのポイント・手順
5	≪ 10章 メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論 2. 皮膚の生理と構造 3. フェイスプロポーション 4. 色彩について 5. パーソナルカラー	メイクアップ概論・皮膚の生理と構造、表皮、真皮、皮下組織・フェイスプロポーション、顔の各部の名称・色彩について、色の三属性、色相、明度と彩度、色調・パーソナルカラー、spring, summer, Autumn, winter
6	6. 用具の種類と消毒方法 7. メイクアップ 8. ブライダルメイクアップ 9. 肌質別修正メイクアップ	・主な用具の種類、衛生について、手指の消毒、タオル類の消毒、用具の洗い方、ブラシ類、パウダーバフ、アイシャドーチップ、用具の消毒方法、消毒の手順、血液が付着していない場合、血液が付着している、あるいはその疑いのある場合 ・メイクアップ スキンケア、クレンジング、化粧水、乳液、スペシャルケア ・ベースメイクアップ 化粧下地、毛穴補正料、コントロールカラー、ファンデーション、コンシーラー、フェイスパウダー・ブラッシュオンメイクアップ、チーク、ハイライト、シャドー・アイブロウメイクアップ、眉の毛の流れ、眉の形の基本、代表的な眉の形 ・アイメイクアップ、アイカラー（アイシャドー）、アイライン、アイラッシュカール、マスカラ ・リップメイクアップ、代表的なリップライン ・ブライダルメイクアップ、男性のメイクアップ、スキンケア、カバメイクアップ、眉、シャドー、リップケア・肌質別修整メイクアップ・まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項
7	10. まつ毛エクステンション	まつ毛エクステンションにおける衛生及び保健、道具の一例・カウンセリング、注意事項
8	総まとめ	テストを実施する 8章～11章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
9	≪ 11章 日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称 3. 日本髪の種類と特徴 5. 日本髪と調和	日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和
10	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術 8. 日本髪の手入れ 10. かつら	日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、髻の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
11	≪ 12章 着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的 2. 礼装 3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ 5. 帯 6. 小物 7. 着物各部の名称 9. 着物のたたみ方	着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ 帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
12	9. 着付けの一般的要領 10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術 12. 帯締め、帯揚げの結び方 14. 男子礼装羽織、袴着付け技術	体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
13	14. 羽織のひもの結び方 15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項 17. 和装花嫁 19. 洋装花嫁(ウェディングドレスの知識)	羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
14	まとめ	まとめを実施する 11章～13章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
15	解説	テストの振り返り・解説

16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具 重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプー・ヘアデザイン 重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマメントウェービング 重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセット・ヘアカラーリング 重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ 総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する 美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	公益社団法人日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。				
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。				
評価基準	テストおよび小テスト：80% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 雄一郎	実務経験		○	
実務内容	高校公民、免許取得後、高校、専門、短大教師として18年間従事				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章 法制度の概要 第1節 第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会生活における法の役割 日本の法令体系
2	第1章 法制度の概要 第3節 第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章 衛生行政の概要 第1節 ～ 第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章 理容師法・美容師法 第1節 第2節	「美容師法」の目的 「美容師法」で用いられる用語の定義
5	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許取得までの過程
6	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師免許の申請と欠格条件
7	まとめ	まとめを実施する
8	解説	振り返り・解説
9	第3章 理容師法・美容師法 第3節	美容師に求められる義務
10	第3章 理容師法・美容師法 第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章 理容師法・美容師法 第3節	管理美容師
12	第3章 理容師法・美容師法 第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章 理容師法・美容師法 第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する
15	解説・総まとめ	振り返り・解説

16	第3章 理容師法・美容師法 第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章 理容師法・美容師法 第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章 理容師法・美容師法 第7節	違反者に対する罰則
19	第4章 関連法規	衛生に関連する法律、 業の振興に関連する法律
20	第4章 関連法規	雇用に関連する法律、消費者保護に関連する法律
21	まとめ	まとめを実施する
22	解説	振り返り・解説
23	第1章 第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	衛生管理		出版社	公益社団法人日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で衛生面についての理解する。				
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲西 佳代	実務経験		○	
実務内容	看護師としてICU、慢性病棟、リハビリ病棟など9年勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	公衆衛生	公衆衛生のまとめと問題演習
2	環境衛生	環境衛生のまとめと問題演習
3	感染症	感染症のまとめと問題演習
4	総まとめ	総まとめを行う
5	第4編 衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
6	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論①	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
7	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論②	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
8	第4編 衛生管理技術 2章消毒法各論③	理学的消毒法・化学的消毒法（消毒条件・特徴） すぐれた消毒法と実施上の注意
9	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒薬の概要、消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
10	第4編 衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の消毒の実際
11	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1 目的～第4 衛生的取扱い等
12	第5編 衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第5 消毒～第6自主的管理体制
13	まとめ	衛生管理技術、衛生管理の実際 まとめを実施する
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う

16	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
17	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
18	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
19	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
20	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
21	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
22	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
23	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
24	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
25	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	模擬試験及び美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	化粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	化粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	化粧品化学		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や化粧品等に関する化学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。 「美容技術理論」、及び「美容実習」と関連させながら、実地的な知識の習得する。				
到達目標	美容の化粧品化学・美容機器・化粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用ができる。				
評価基準	テスト：50% 小テスト：30% 授業態度：20%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	衛生管理、美容保健、美容技術理論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山本 剛	実務経験		○	
実務内容	九州大学卒業後、学習塾・専門学校・大学講師として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	第1編 第1章：化粧品総論 第2章：化粧品を使用する際に気を付けること	化粧品の社会的意義を踏まえ、その有効性と安全性を確保するための国による規制やメーカーの対応などから使用する際の注意その他
2	第3章：化粧品の成り立ち 「水と親水性溶媒」	溶質と溶媒、有機・無機化合物、アルコールの種類と特徴のまとめ
3	第3章：化粧品の成り立ち 「油性原料」「界面活性剤」	油性原料（油脂、ロウ類、炭化水素、高級脂肪酸、高級アルコール、シリコーン油など） 界面活性剤の種類と性質
4	第3章：化粧品の成り立ち 「高分子化合物」「色材」	高分子化合物（天然・半合成・合成） 色材（無機顔料・タール色素など）
5	まとめ総合および中間試験	1～4回までの総復習および中間試験
6	第3章：化粧品の成り立ち「天然色素」「香料」「配合原料」	天然色素、香料、配合原料（防腐剤・紫外線吸収剤・酸化防止剤・収れん剤など）合成樹脂など
7	第2編 第1章：スキンケア製品①	クレンジング用化粧品・コンディショニング用化粧品（クリーム・乳液を含む）とエモリエント剤の復習
8	第2編 第1章：スキンケア製品②	トリートメント用化粧品・サンケア製品・美白用化粧品・ニキビ用化粧品・打粉類・バック剤
9	第2編 第2章：メイクアップ製品	ベースメイクアップ製品、アイメイクアップ製品、まつ毛ケア製品、ネイルメイクアップ製品
10	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品①	ヘアクレンジング用化粧品、ヘアコンディショニング用化粧品、ヘアスタイリング料・総復習
11	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品②	パーマ剤（パーマの原理、分類など）
12	第2編 第3章：ヘアケア、ヘアメイクアップ及びスカルプケア製品③	ヘアカラー製品・スカルプケア製品
13	まとめ総合および期末試験	6回から12回までの総復習および期末試験
14	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
15	前期総まとめ	前期総まとめ

16	前期内容確認	前期で学習した内容を総復習しながら、不十分な範囲などを補足する。
17	化学範囲補充	教科書化学範囲（関連事項）について補足授業
18	化粧品化学総合①	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
19	化粧品化学総合②	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
20	化粧品化学総合③	化粧品化学の重要項目の復習と演習および解説
21	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
22	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
23	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
24	まとめ総合および期末試験	期末試験（全範囲）
25	試験解説および総復習	期末試験の解説および総復習
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウエーブ教材一式 衛生教材一式・カット教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% カット：総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - C・美容実習Ⅱ - E				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	前川 和也(他2名)	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（9年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【オールウェーブ】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウェーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウエーブ・リッジ）、計測25分
2	オールウェーブセッティング	1年次おさらい 1段目～3段目、くりぬき（ウエーブ・リッジ）復習、計測25分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピンニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測25分～20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール導入
5	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化
6	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール復習、強化、7段目クロッキノールカール導入
7	オールウェーブセッティング	1段目～3段目、くり抜き復習、計測20分～17分 4段目 右リフトカール、5段目左リフトカール復習、強化、計測各カール3分、美容師国家試験衛生 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、7段構成全体のバランス
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティングまとめを実施する 1段目～3段目、くり抜き、4段目右リフトカール、5段目左リフトカール計測26分 6段目メイボール、7段目クロッキノールカール復習、強化、計測、7段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール計測15分 7段構成 計測35～30分、美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティングまとめを実施する（全頭35分） 7段構成 計測35～30分 美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
12	オールウェーブセッティング	7段構成30～25分 美容師国家試験衛生
13	オールウェーブセッティング	7段構成25分 美容師国家試験衛生
14	オールウェーブセッティング 総まとめ	7段構成25分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ - B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ - B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ - A美容実習Ⅱ - C・美容実習Ⅱ - D・美容実習Ⅱ - E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	荒木 直子(他1名)	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、サロン勤務（10年以上）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】		
回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 22分～20分
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 22分～20分
4	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 計測ブロック込み 全頭巻き 20分
9	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験衛生 全島計測20分でまとめを実施する
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
12	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
13	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
14	ワインディング 総まとめを実施する	ワインディング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

各回の展開【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション 国家試験カット	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） 1年次おさらい カット手順再確認
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
4	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 計測（カッティングのみ）18分～16分（チェックカット込み）22分～20分
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
9	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
11	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
12	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
13	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイム
14	国家試験カット 総まとめを実施する	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り 課題到達目標の確認

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 オールウエーブ教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業 時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する				
評価基準	ワインディング：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% オールウエーブ：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「ワインディング」「オールウエーブセッティング」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	小川 あずさ（他2名）	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、ブライダルヘアメイクアーティストとしてブライダルサロン勤務（10年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】		
回数	単元	内容
1	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
2	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング まとめ	ワインディング・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
9	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
10	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生
11	ワインディング	ワインディング・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【オールウェーブセッティング】

回数	単元	内容
1	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
3	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
4	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
5	オールウェーブセッティング まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムでまとめを実施する
6	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
7	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
8	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
9	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
10	オールウェーブセッティング	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生
11	オールウェーブセッティング 総まとめ	オールウェーブセッティング・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	美容師国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	国家試験カット：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 各校フリー：総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-E				
備考	・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「各校フリー」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	前川 和也(他2名)	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務（9年）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容
1	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
2	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
3	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
4	国家試験カット まとめ	国家試験カット・美容師国家試験 国家試験タイムでまとめを実施する
5	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
6	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
7	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
8	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
9	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
10	国家試験カット	国家試験カット・美容師国家試験衛生
11	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット・美容師国家試験衛生 国家試験タイムで総まとめを実施する
12	総合授業	総合的授業を実施する
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

各回の展開【フリー】

回数	単元	内容
1	国家試験対策	国家試験対策
2	国家試験対策	国家試験対策
3	国家試験対策	国家試験対策
4	国家試験対策	国家試験対策
5	国家試験対策	国家試験対策
6	国家試験対策	国家試験対策
7	国家試験対策	国家試験対策
8	国家試験対策	国家試験対策
9	国家試験対策	国家試験対策
10	国家試験対策	国家試験対策
11	国家試験対策	国家試験対策
12	国家試験対策	国家試験対策
13	国家試験対策	国家試験対策
14	国家試験対策	国家試験対策
15	国家試験対策	国家試験対策

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ-E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅱ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウェーブ教材一式・カットティング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル VR		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業 試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する				
到達目標	美容師国家試験 第1課題・第2課題・国家試験衛生合格レベルを習得する				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	美容師国家資格(実技)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅱ-A・美容実習Ⅱ-B・美容実習Ⅱ-C・美容実習Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	比嘉 歩(他5名)	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務(7年)				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第1課題・第2課題 まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 まとめを実施する
8	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
9	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第1課題・第2課題	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第1課題・第2課題 総まとめ	国家試験第1課題・第2課題・美容師国家試験衛生 総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	選択	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め(2)・腰ベルト・腰ひも(4)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2)・足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・きもの着付け3級(6月強制受験 免許強制) ・きもの着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡久地 紀子 他	実務経験		○	
実務内容	着付け師として実務経験10年上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方 1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方 2	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方 3	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方 4	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方 5	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方 6	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け 3 級検定（小紋の着付と蝶結び（20分））を実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）を学ぶ 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する たたみ方テストを実施する
13	座学 2	着物のTPO（プリント③④）を学ぶ
14	小紋と名古屋帯	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う

16	振袖の着せ方 1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方 2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方 3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方 4	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方 5	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方 6	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方 7	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23	振袖の着せ方 8	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
25	検定試験	きもの着付け 2 級 検定試験（振袖に ふくら雀 30 分）
26	留袖の着せ方 1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方 2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。				
到達目標	希望の就職先に内定				
評価基準	テスト：10% 提出物・課題：50% 授業態度：40%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	下町 さおり(他1名)	実務経験		○	
実務内容	エステ認定講師 講師歴10年以上				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	夢	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク（熱い動画）
7	夢	美容業界リサーチ
8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）

16	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクレーション
17	人間力	担任の想い
18	夢	一般常識
19	夢	社会人として求められているもの
20	人間力	愛される人材とは
21	人間力	メンタルトレーニング①
22	人間力	メンタルトレーニング②
23	夢	企業研究
24	人間力	感謝の気持ち
25	夢	企業研究
26	夢	CASEスタディ①
27	夢	CASEスタディ②
28	人間力	卒業してからの自分を想像する
29	夢	企業研究の総まとめ
30	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ - A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ - A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人 理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【C&G】サロンワークの接客、技術を学ぶ				
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる				
評価基準	【C&G】50% (実技試験10% 筆記試験5% 総まとめ10% まとめ提出物15% 授業態度等15%) 【ベーシックメイク】50%(実技テスト20%、提出物15% 授業意欲15%)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、この科目は対面授業にて実施する。 ・この科目は「カット・パーマ・カラー」「ベーシックメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。 				
担当教員	C&Gエグザミナー	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【各校フリー】		
回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的・評価基準・マナールール説明 教材確認（教材の名称・扱い方・管理方法）、前期の振り返りを行う
2	カウンセリング・カット①	ワンレングス
3	カット②	レイヤー
4	カット③	グラデーション
5	カット（相モデル）	相モデル
6	カラー①トレーニングクリーム	トレーニングクリーム/筆記対策
7	カラー②ブリーチ剤	ブリーチ
8	カラー③カラー剤	カラー剤
9	カラー（相モデル）	相モデル
10	アップ①	ウィッグ
11	模擬試験アップ（相モデル）	相モデル
12	模擬試験（カット・カラー）	相モデル
13	試験対策授業	対策試験
14	本試験	試験
15	本試験	試験

各回の展開【ベーシックメイク】

回数	単元	内容
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定対策を行う)
23	ブレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ-D		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った補強を学び、JNAジェル検定初級取得から中級までの技術やデザインジェルをマスターし、サロンで接客のできる技術を習得する				
到達目標	基礎技術に加えてJNEC2級取得レベルに技術と共にJNAジェル検定初級に合格し、更に中級検定取得レベルを目指し、サロンワークに対応できる技術を身に付ける				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級/JNAジェルネイル検定初級				
関連科目	美容実践Ⅰ-D/サロンワークD				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	押野見 久恵他1名	実務経験	○		
実務内容	JNA本部認定講師、ネイリスト28年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材チェック 1年次復習	導入・教材チェック1年次復習
	導入・教材チェック 一年次復習	導入・教材チェック一年次復習
2	1年次復習	1年次復習
	一年次復習	一年次復習
3	1年次復習	1年次復習
	1年次復習	1年次復習
4	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを学ぶ
	2級検定説明 チップラップ	チップラップを学ぶ
5	ジェルグラデーション 実技	ジェルグラデーションを練習する
	チップラップ 実技	チップラップ 実技
6	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを学ぶ
	2級後半 実技	2級後半 実技
7	ジェルフレンチ 実技	ジェルフレンチを練習する
	2級 通し	2級の実技を通して練習する

8	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを学ぶ
	2級 通し	2級 通し
9	ジェルスカルプ 実技	ジェルスカルプチュアを練習する
	実技試験	2級内容
10	ジェル検定中級 第一課題 筆記試験	第一課題を通して練習する。 ジェルの筆記試験
	実技試験	実技試験
11	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	筆記試験	2級内容の筆記試験
	トリートメント 実技	トリートメントを学ぶ
12	ジェル検定中級 第二課題	ジェル検定中級 第二課題
	エンボスアート 実技	エンボスアートを学ぶ
13	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	3Dアート 実技	3Dアートを学ぶ
14	実技試験	ジェル検定中級第二課題内容
	ミックスメディア アート	総合的なアートを作成する
15	総合授業	総まとめを行う
	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	VR		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	サロンワークで活かせる技術や、スタイル作品などいろんなジャンルを幅広く学ぶ				
到達目標	スチューデントサロンにおいて、お客様に提供できる技術や知識を身につける				
評価基準	総まとめ30% まとめ20% 提出物20% 授業態度30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	なし				
関連科目	美容実習Ⅱ-A・B・C・D・E・F 美容実践Ⅱ-A				
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。				
担当教員	坂井 心平	実務経験		○	
実務内容	美容師免許取得後、美容師としてサロン勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【各校フリー】		
回数	単元	内容
1	1年次復習	
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	<p>様々なシュチュエーションや 施術内容を設定し、サロンワーク としての技術・接客を シミュレーションとして行う</p> <p>施術時間・用具の管理・接客対応 ・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など 様々な視点からチェックしていく</p>
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	
7	サロンワーク技術	
8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	
11	サロンワーク技術	
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	総まとめを行う

16	前期振り返り	
17	サロンワーク技術	
18	サロンワーク技術	
19	サロンワーク技術	<p>様々なシチュエーションや 施術内容を設定し、サロンワーク としての技術・接客を シミュレーションとして行う</p> <p>施術時間・用具の管理・接客対応 ・言葉遣い・クレーム処理方法など 様々な視点からチェックしていく</p> <p>基本的には外部の方をお客様として招き サロンを運営することを目的とするが 授業空きの教員などにも お客様としてモデルをしていただく、 相モデルなど工夫して授業を進める</p> <p>サロンメニューやだけではなく、 集客方法やフライヤー作成など すべての運営を生徒たちが考えていく</p>
20	サロンワーク技術	
21	サロンワーク技術	
22	サロンワーク技術	
23	サロンワーク技術	
24	サロンワーク技術	
25	サロンワーク技術	
26	サロンワーク技術	
27	サロンワーク技術	
28	サロンワーク技術	
29	サロンワーク技術	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワーク D		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワーク D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	60
使用教材	まつ毛エクステの道具一式 カット道具一式		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	まつ毛エクステについて理解し、装着ができるようになる カットの種類を学び、理解する				
到達目標	まつ毛エクステ検定に合格できるようにする カット技術の定着				
評価基準	テスト 50% 授業態度 25% 提出物 25%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上のもの 成績評価が2以上のもの				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅱ他				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	秋廣 桃香	実務経験	○		
実務内容	アイリストとしてサロン勤務し、美容学校講師として、美容実習、まつ毛エクステ技術などを担当5年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	【理論】 道具の確認	まつ毛エクステに使用する道具の名称などを確認する
2	【実技】 ワゴンセッティング	実際に使用する道具を使用し、机上をワゴンに見立ててセッティングの場所を覚える
3	【理論】 衛生管理	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
4	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
5	【理論】 保健（目・皮膚）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
6	【実技】 まつ毛エクステンション技術	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
7	【理論】 保健（まつ毛の知識）	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
8	【実技】 テーピング・リムービング	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
9	【理論】 カウンセリング	まつ毛エクステに必要な知識を勉強する
10	【実技】 装着復習	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
11	【理論】 カウンセリング	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
12	【実技】 装着復習	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
13	【理論】 テスト（概要～用具）	まつ毛エクステに必要な実技を勉強する
14	まとめ	実技のまとめを行う
15	まとめ	実技・筆記のまとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークD (ネイル)		
必修選択	選択	(学則表記)	サロンワークD		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック、ジェルネイル ネイル道具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	サロンワークを想定し、メニューの作成や効率の良い施術方法、接客マナー等、総合的なサロン運営を学ぶ。				
到達目標	ネイル：実践的な学びから、即戦力のネイリストとしてサロンワークで通用する接客、技術を習得している。				
評価基準	ネイル：授業態度10%、実技テスト30%、筆記テスト30%、提出物30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト技能検定3級・JNAジェルネイル検定初級、中級				
関連科目	美容実践Ⅰ-D / 美容実践Ⅱ-D				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	押野見 久恵他1名	実務経験	○		
実務内容	JNA本部認定講師、ネイリスト28年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入、ネイルサロンでの業務について	サロンワークとは サロン形態（路面、テナント、商業施設等の違い）、ネイリストの役割について
2	サロンスタイルのアートデッサン①	サロンワークを想定し、ネイルアートを5本セットで考える① （テーマ：シンプルデザイン、5本のうちアート1本）
3	サロンスタイルのアートデッサン②	サロンワークを想定し、ネイルアートを5本セットで考える② （テーマ：季節を意識したデザイン、流行のネイルアート等、5本のうちアート2～3本）
4	サロンをつくってみよう①	ネイルサロン、トータルサロン、アイラッシュ&ネイルサロン等、各自でサロンの 出店計画を立てる
5	サロンをつくってみよう②	メニューと価格を考える。 座席（ベッド）数から、1日の平均売上金額を計算する
6	ドライケア	ジェルネイル施術の際に行うドライケアを学ぶ
7	施術時間を意識する①	時間配分を考えながら、40分間でドライケア、片手グラデーションの施術を行う
8	施術時間を意識する②	時間配分を考えながら、40分間でドライケア、片手フレンチの施術を行う
9	サロンマナー①	お客様のお出迎え、ご案内。電話対応（予約受付、問い合わせ等）
10	サロンマナー②	カウンセリング、カルテの書き方
11	サロンワーク実践①	各自60分で施術完了できるネイルアートを5本セットで作成（ドライケア込み）
12	サロンワーク実践②	ネイリストとお客様に分かれ、実際のサロンワークを想定し、お出迎えからカウンセリング、施術、お見送りまでの流れを行う
13	サロンワーク実践③	前回と役割を変えて、同様にサロンワークの流れを行う
14	サロンワーク振り返り	実践で行ったサロンワークを振り返る
15	まとめ	前期ふりかえり